

9月10日は「下水道の日」です。

- 「下水道の日」は、大幅に整備が遅れていた下水道施設の全国的な普及を図るため、昭和36年に「全国下水道普及促進デー」として始まり、平成13年に現在の名称になりました。
- 島根県内の污水处理施設を利用できる環境にある人の割合（污水处理人口普及率）は、平成6年度は約20%でしたが、平成24年度には74%まで伸びました。県は市町村を支援し、平成30年度までに全県でおおむね8割の方が污水处理施設を利用できるよう普及を進めて参ります。

下水道の役割



家庭などから出た生活排水を処理場できれいにして放流するので、川や湖、海の水質保全に大きな役割を果たします。



家の近くの側溝に生活排水が流れないため、街もきれいになります。

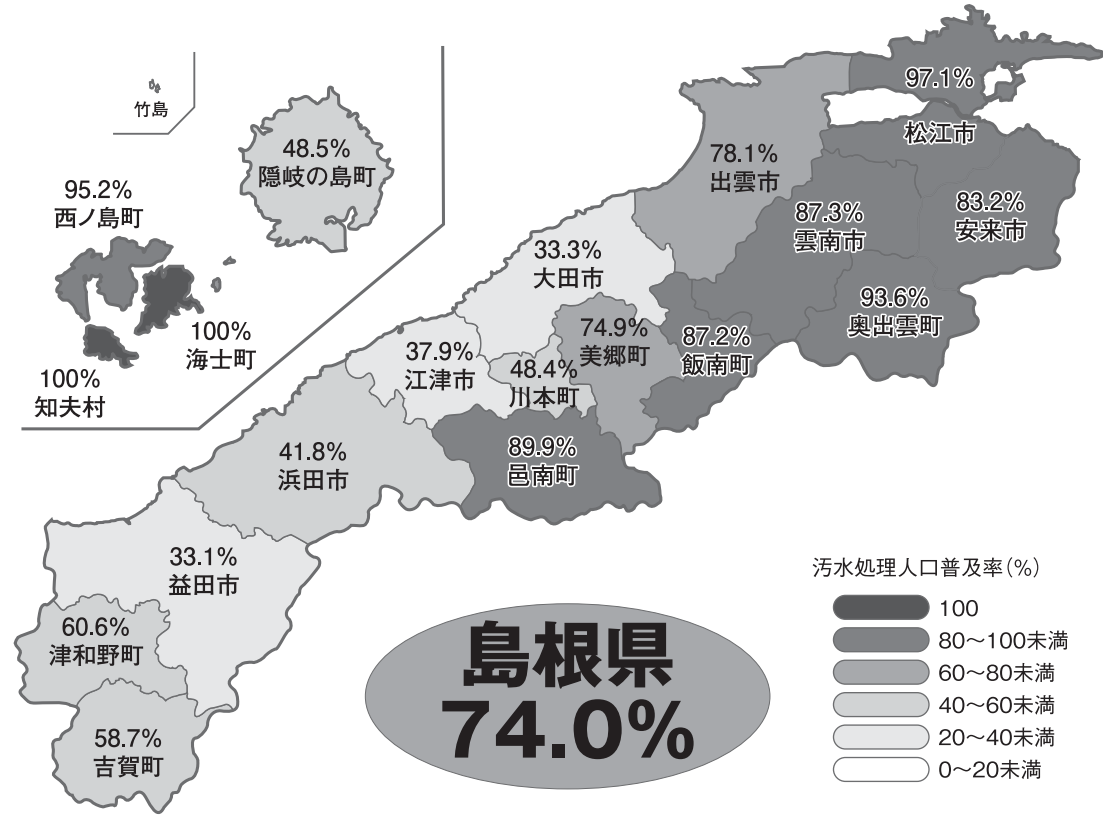


清潔で快適な水洗トイレが使えるようになり、お年寄りや子ども達が安心して使用できるようになります。



雨水を川や海へ速やかに流し、街を浸水から守ります。

平成24年度末 污水处理人口普及率(市町村別)



污水处理施設とは…

下水道、集落排水、浄化槽などの汚水を浄化する施設の総称です。